

2) 保全措置

九折瀬洞については、コウモリ類やツツラセメクラチビゴミムシなどの昆虫類等が生息し、特有な食物連鎖関係が顕著であると考えられる東ホールの生息環境を保全することとしている。

ダムの湛水による影響を低減するために、①コウモリ類の移動を確保するための新たな経路の設置、②流木などの異物が洞窟内に入らないようにするための洞窟周囲への網場の設置などの保全措置が可能であり、必要な措置については専門家の指導を受けながら実施するとともに、モニタリングを実施する。